

日本キリスト教団 仙台青葉荘教会

週 報 (簡素版)

〒980-0012

仙台市青葉区錦町 1 丁目 13-48 Tel 022-222-3855

2020年5月24日

復活節第7主日礼拝順序

説教：潮 義男牧師

前奏・黙禱

讃美歌 168

主の祈り

聖書

創世記 44 章 18~31 節

説教 「父と子の絆」

祈り 潮牧師

聖歌 511

祈禱(ネット配信を聴取されている方、及びこの週報で礼拝をされる方はお祈りください)

頌栄 543

祝禱

- ・新型コロナ・ウィルスの感染が収束し、喜びをもって礼拝が再開できるように祈ります。主イエス・キリストの恵み、父なる神のご愛、聖霊の交わりの祝福がありますように
- ・次週はペンテコステ礼拝です。聖霊なる神様が降臨され、新しい時代、教会の時代を迎えました。
- ・コロナ・ウィルスの感染拡大の非常事態が緩和されつつあります。
- ・コロナ・ウィルス収束後の世の中、社会について語られるようになりました。予測もつかないことですが、神がいつもともにおられ、ちからと希望を与えてくださることを信じます。

説教要約

日本の著名な伝道者の一人に本田弘慈という方がいました。わたしが神学生のころに活躍した宣教者で、日本のビリー・グラハムと呼ばれた大衆伝道者でした。本日の聖書の箇所から説教を準備していた時、本田弘慈牧師のことを思い出したのです。

それは、彼の長男が幼くして病気で亡くなったのですが、「お母さん・・・」と枕元でお母さんと呼び求めるのですね。そのそばに本田牧師もいたのですが、「お母さん」とお子さんが母親を呼ぶ声を聞いて、悲しくなったとのこと。父親の本田牧師も長男をかわいがり、愛してやまなかったのです。それでも、お母さんと母を呼ぶ。なぜ、父であるわたしではなかったのか・・・ その話を思い出しました。

皆さんはいかがですか？ 確かに、子どものころ、病気で寝ている時、介抱してくれるのは母親ですし、母の愛は海よりも深いと申します。わたしなどは、仕方がない。父と母を比べることはないかと割り切っております。先々週は、母の日でした。

聖書を見ますと、母の愛は少ないのですね。むしろ、父と子の関係が多いのに気づかされます。母と子の関係の深さ、大きさを語る聖書は少ない。アブラハムとイサク、イサクとエサウ・ヤコブ。そこには、アブラハムの妻サラはいますが、むしろ父アブラハムと子イサクの関係の大きさを聖書は語っています。モリヤの山におけるイサク奉獻(22章)。

聖書の神は父なる神ですし、わたしたちもイエス様によって、天にまします我らの父よと父に祈ります。聖霊によって「アバ父よ」と神に呼ばれる特権が与えられているのです。「おとうちゃん」です。お母ちゃんとは言わないですね。

本日の聖書。ヤコブと12人の子どもたち。もっとも、この聖書の記事はヨセフと兄弟の物語ですが、父ヤコブと子の関係が主題でもあります。

1. 兄弟たちの悔改め

兄弟たちを歓待した後、ヨセフはベニヤミンの袋に密かに銀の杯を入れ、ベニヤミンを捕えようとします。それは、自分の弟しかも同じ母リベカの子であり、愛着はひとしおであるからです。1~2節を読みましょう。

2. 悔改めと赦し

人間は心の底に人に言えない、人に知られたくない一隅を持っています。悔改めとはその罪を告白し、赦しをこうことです。兄弟たちはヨセフを奴隷としてエジプトに売ったことを父にさえ秘密にしていました。44章27~28節

3. 父と子の絆 ユダとヤコブ

ユダは弟を残して帰れば父ヤコブは悲しみのあまり死ぬ、それは出来ないかと嘆願します。30節「父の魂は子供の魂に結ばれているのです。この子供が我々と一緒にいないのを見たら、父は死ぬでしょう」

父の魂を思う子は、同時に子の魂を思う親と同じ愛の関係です。神はわたしたちに「アバ父よ」と呼ぶ霊を与えられるのです。父なる神は、わたしたちを愛しておられます。